

【概要】

2015 年度上半期 フラット35利用者調査

I 調査の概要

フラット35を利用された方の社会的属性、住宅の概要等に関して、2015 年度上半期（4月から9月まで）に買取りの承認を行った債権（借換えに係るものを除く。）のうち 34,179 件（2014 年度上半期：23,783 件）について集計。

本調査はフラット35の融資制度が創設された 2003 年 10 月の翌年度である 2004 年度から開始しています。

II 調査結果の主なポイント ※<>は、本調査結果の詳細資料中の該当ページ

1 平均年齢が 2010 年度下半期以来、4年半ぶりに低下

2011 年度上半期以降、平均年齢は上昇傾向にあり、2013 年度下半期以降は 40 歳を超えていたが、足下で 39.8 歳と4年半ぶりに低下し、40 歳を下回った。

<p5>

2 中古住宅の利用割合が増加傾向

2012 年度下半期以降、中古住宅（中古戸建及び中古マンション）の利用割合が増加傾向。年齢別では、40 歳以上の方が中古住宅を利用する割合が高い。<p6>

3 平均世帯年収【注】は 2014 年度下半期と同様に 600 万円台で推移

世帯年収 400 万円未満の構成比は、2014 年度上半期以降、低下傾向にあり、足下では 22.4%となった。平均世帯年収は 2014 年度下半期（609 万円）とほぼ同水準の 610 万円となり、600 万円台で推移している。<p10>

【注】世帯年収：申込ご本人の年収及び収入合算者の合算する年収の合計額

4 マンションの平均購入価額が上昇

全国のマンションの平均購入価額は、2014 年度上半期の 3,782 万円から 4,231 万円と上昇した。また、東京都のマンションの平均購入価額は、2014 年度上半期の 4,722 万円から 5,535 万円と上昇し、5,000 万円台となった。<p19>